

# 大阪ヒト元氣録

生まれも育ちも大阪市旭区。寝屋川市の高専を卒業した後、さまさまな職種を経験し、二〇〇三年には旭区大宮「丁自」でおかわ鍼灸(しんきゅう)「整骨院」を開業した。外反母趾(ぼし)などを得意とし、地域に愛される鍼灸整骨院になっている。

## ■直接、接したい

「実は中退なんです」と話す塩川徹院長(ご)は、寝屋川高専の在学中にバイク事故に遭い、七カ月の入院と四回の手術を余儀なくされた。天井ばかりを眺める日々で「退院したらあおしやう、

「こうしよう」とやりたいことをいっぱいになっただが、思い浮かんだ「やりたいこと」は、後回しにしているだけで自分の気持ち一つでいつでもできることばかりだといふことに気が付かされた。

高専の卒業式のわずか一週間前に思い切って中学の専門学校に入学。昼は学校、早朝と夜はバイトをする生活を六年間送った。突然学生に戻った。

「直接、客と接したい」という思いが募った。そこで吹田市にある東洋医学の専門学校に入学。昼は学校、早朝と夜はバイトをする生活を六年間送った。「突然学生に戻っ

た。突然学生に戻った。突然学生に戻った。

## しおかわ鍼灸整骨院長

しおかわ とおる  
塩川 徹さん

# 地域一番店を目指す



「いつまでも患者さんの目標で治療に当たりたい」と話す塩川さん

たので収入は激減し、妻には大変負担をかけた。しかし、六年間は短く感じるほど充実した日々でした。塩川さんは振

## ■現場主義大切に

今年で開業五年。整骨院を「どんなにデジタル

化が進んでも人間にしかできない仕事」と話す塩川院長は「現場主義」を大切にしているという。開業当時は持っている知

識と技術を駆使して「自然治癒力を引き出すお手伝い」をモットーにし、そこにあるのは患者の目標だ。「旭区の皆さんが笑顔でいられるお手伝い

ができる地域一番店を目指しています」と話す塩川さんの整骨院にはうわさをお聞きつけた患者が途切れることなく訪れる。

## 自然治癒力を出すお手伝い

現在「利用者の目標の中で高い技術による治療を施す。もちろんそこにあるのは患者の目標だ。旭区の皆さんが笑顔でいられるお手伝い

ができる地域一番店を目指しています」と話す塩川さんの整骨院にはうわさをお聞きつけた患者が途切れることなく訪れる。

○...若いころはバイクでやんちゃなことをしていた普通の高専生。それが退屈な入院生活をきっかけに「考える時間」を身えられ、「天職」に巡り合えた。それにしても、塩川さんの「やりたいことを仕事にした」行動力には驚かされる。整骨院におじやますると、若いスタッフが児童分として募っている様子が随所にうかがえる。しかも明るい。「病は氣から」というが、患者さんの暗い気持ちを吹き飛ばすような彼らの元氣なあいさつを聞いているだけで、何だか元氣になってきた。

(上部 武宏)